



2023年6月30日

## ドラッグストアのゲンキーが オプタークの自動発注システム「Real」を導入

ゲンキー株式会社(以下「ゲンキー」)は、オプターク合同会社(以下「オプターク」)が提供する自動発注システム「Real」(以下「Real」)を正式に導入することを発表しました。

ゲンキーでは以前より別の自動発注システムを導入していましたが、近年の急激な店舗拡大に伴いオンプレミスの仕組みでは店舗数の増加に耐えられないこと、また中長期的に幅広い地域への出店を考えた際、地域別の特性や天候の特性に応じて個店在庫の適正化を保つために、変化に対応可能な需要ロジックが必要になることが課題でした。

オプタークのもつ自動発注システム「Real」は、多数の因果関係(コーザル)を考慮することで需要予測に長け、在庫最適化をより図ることができます。また未来の販売予測を行うことで、販売計画や倉庫の発注コントロールができます。さらに、インフラ面ではサーバーレステクノロジーで構築されているため、可用性、セキュリティにも強く、コスト面では処理を必要としないときは費用がかからず、従来の仕組みよりコストを1/7まで抑えることができます。アーキテクチャはマイクロサービステクノロジーを採用しており、ビジネスの要求にあわせたサービス変更が可能な仕組みとなっています。

このような特徴がゲンキーの求める自動発注システムに合致していることから正式に導入することが決まりました。ゲンキーは「Real」導入により、より一層の出店数の拡大と在庫最適化によるチャンスロス、廃棄ロスの削減を目指していくとしています。

「Real」は、①在庫最適化、②販売予測、③推奨計算 のサービスを備えた自動発注システムです。

### ①在庫最適化

通常ならば在庫の精度が落ちると使用できなくなる自動発注システムですが、在庫がブレても自動発注への影響が最小限になるように設計されています。過去のPOSデータや出荷データの連携における遡及計算も行うことができるため、今だけでなく過去の在庫を正しく分析に用いることも可能となります。また保有日数を計算することで、販売数以上に在庫を持ってしまっている商品に対して店舗間移動などを推奨する仕組みとなっています。棚卸し不備

の際のアラートも行い、棚卸しによる変更レポートを出すことで棚卸運用も見据えています。全店と個店それぞれの販売傾向や在庫を見ることで、システム上では在庫があっても、実際の店舗には在庫がない可能性があるアラートを行い、チャンスロスしている可能性を知らせる仕組みも持っています。

## ②販売予測

過去の販売の売れ方だけではなく、広告や月割、季節、気温といった外部要因によって売れ方が変わることを見越した販売予測計算を行うことができます。販売予測は30日先まで行うため、倉庫など事前にどのくらい在庫が必要か発注量をコントロールすることもできます。

## ③推奨計算

ボリュームを持たせたい商品を商品もしくはジャンルごとに設定することができる等、最適な発注が行われるようチューニングが行えます。ジャンルによって異なる発注や納品周期を予測し、それぞれのリードタイムを変えるとといった実運用で起こり得る点を考慮することができます。さらに納品日が異なることで翌々納品までの在庫を考慮した発注量も計算することができます。

ゲンキー株式会社は1990年9月に設立された、国内で現在400店以上のドラッグストアを展開する会社です。生活必需品に絞った品揃えとEDLP (Every Day Low Price) を特徴としています。また近年では出店を加速させており、今後3年間で230店舗を増やす計画です。

オプターク合同会社は2019年5月に会社を設立。システムコンサルティングとデータ分析基盤を中心としたシステムインテグレーション事業を担う会社です。システム企画、システム実装において、ビジネスの成功を見据えたソリューションになっているか本質を考え、部分最適ではなく全体最適できるようお客様を支援しています。

オプタークは今後も引き続きゲンキーのビジネス発展とより働きやすい環境の構築の為にサポートをしていきます。